



2022年7月28日

各位

会社名 HEROZ 株式会社  
代表者名 代表取締役 Co-CEO 林 隆 弘  
(コード番号: 4382 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員 CFO 森 博 也  
(TEL 03-6435-2495)

### 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画書の更新について

当社は、2021年12月10日に、プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2022年4月時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

#### I. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年4月時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっております。

2022年4月30日時点においては、「流通株式比率」及び「流通株式時価総額」については、プライム市場の上場維持基準の適合状況において抵触項目となっております。

また、「流通株式比率」に関しては、2021年6月30日（移行基準日）時点においても、基準に適合していません。

当社としては、「流通株式比率」、「流通株式時価総額」共に、2026年4月末までに、それぞれ上場維持基準を充たすために、各種取組を進めてまいります。

		流通株式時価総額 (円)	流通株式比率 (%)
当社の 適合状 況及び 推移	移行基準日時点 (2021年6月30日)	13,163,563,703	33.6
	2022年4月30日時点	4,981,954,654	33.6
上場維持基準		100億円以上	35%以上
計画期間		2026年4月期	2026年4月期

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### II. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価 (2021年12月～2022年4月)

##### (1) 基本方針

当社では、「驚きを心に」をコンセプトとして、人々の生活が便利に楽しくなるように、AIを活用したサービスを提供しておりますが、今後も継続的な企業価値向上を目指しつつ公正・誠実な事業活動を行うことで、プライム市場への上場維持基準の遵守を目指します。また、当社の事業拡大に応じた内部管理体制の強化を行うことで、より一層のコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでまいります。

## (2) 「流通株式比率」について

### ・ 取組の実施状況

2021年12月10日に提出した計画書において、当社は第6回新株予約権、第7回新株予約権、第8回新株予約権、および、第11回新株予約権を従業員に付与しており、中長期的な成長戦略を実行することで企業価値を向上させ、従業員にとって行使しやすい環境の整備を行うこと、加えて、更なる流通株式比率向上のため、一部の事業会社等が保有する当社株式の市場売却等を目指すことを計画として定めております。

### ・ 取組に対する評価

当社の業績は2022年4月期において、AI(BtoB)サービスの売上が計画に対して未達となりました。その結果、当社の売上およびEBITDAが共に期初の業績予想を下回る結果となったことから、株価が低迷した期間となったことにより、2021年12月～2022年4月末における新株予約権の行使や、一部の事業会社等が保有する当社株式の市場売却は実現できませんでした。

## (3) 「流通株式時価総額」について

2022年6月30日時点において、流通株式時価総額は49億円となり、プライム市場の上場維持基準が求める100億円以上の基準に抵触することとなりました。当社は「流通株式比率」の向上に加え、課題となっているAI(BtoB)サービスにおいて成長戦略を実現していくことにより、中長期的な戦略の実現を通じて、企業価値向上を図ってまいります。計画期間としては、Ⅲ(2)の取組内容に記載した事業戦略等を遂行することにより2026年4月期までには売上の向上を見込んでおりますので、同時期までに流通株式時価総額100億円以上を達成してまいります。

## 3 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

### (1) 「流通株式比率」について

#### ・ 今後の課題

2022年4月期においては、AI(BtoC)サービスは引き続き堅調な安定成長を実現できた一方で、AI(BtoB)サービスにおいて当社AIを搭載したゲーム運営の停止や、初期設定フィーの獲得遅延等の影響により売上高は前期比△17.4%の減収となりました。また、当社が指標として重視するEBITDAも売上高の減収の影響により減益となり、企業価値向上を達成することができず、従業員の株予約権の権利行使がしやすい環境整備が不十分に終わりました。

#### ・ 取組内容

引き続き計画期間(2026年4月期まで)において、既存の新株予約権の行使の促進に加え

て、新たに新株予約権の設定や、一部の事業会社等が保有する当社株式の市場売却を通じて、「流通株式比率」の向上を図ってまいります。

(2) 「流通株式時価総額」について

・ 今後の課題

「流通株式比率」の向上に加えて、当社の企業価値向上を実現していくことが課題であるものと認識しております。

・ 取組内容

「流通株式比率」の向上に加えて、当社の企業価値向上を推進してまいります。

具体的には、AI (BtoC) サービスでは、将棋ウォーズを中心に安定的な事業成長を実現していくことに加えて、2022年5月の世界コンピューター将棋選手権で優勝した「dlshogi with HEROZ」を搭載したAI SaaS型の「棋神アナリティクス」の提供を2023年4月期中に本格的に展開し、将棋分野におけるドミナント力を活かした事業成長を実現してまいります。具体的に重視するKPIとして、MAU (Monthly Active User) を設定いたします。

また、課題であるAI (BtoB) サービスにおいて、従来は高度な技術を有するエンジニア集団として、顧客の様々な課題を解決するAI(BtoB)サービスを推進しておりましたが、一方で高度なエンジニア集団に拘り、顧客開拓活動に注力してこなかったため、2020年4月期をピークに売上は伸び悩み、かつ、既存案件の終了により売上は減収傾向となりました。そこで、現在は、従来の戦略から転換し、2022年4月期は組織変革期として、2022年5月までにセールスマーケティング組織の立ち上げを行いました。今後は顧客開拓活動の強化により、既存顧客の深耕・新規顧客の開拓を注力し、2023年4月期は売上成長を図ってまいります。また、2022年5月にはAI EXPOにも初出展し、BtoB知名度の向上と顧客開拓の強化を図っております。具体的に重視するKPIとして、顧客数、当社エンジニアの稼働率及びエンジニア一人当たり売上高を設定いたします。

以上